時間割コード	G1B30003	開講年度	2026

授業題目	人生１００年時代のＤＥＩ【EA】						担当教員	中島　美帆
英文授業名	DEI for 100-Year Life							関　利恵子
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜･５時限		対象学生	全
講義室				授業形態	e-Learning	遠隔授業科目 該当	備考	主催：信州大学 ＤＥ＆Ｉ推進センター運営委員会
信大コンピテンシー	該当							

(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	⇔	【授業の達成目標】
	大学ＤＰ		
	学士の号にふさわしい基礎学力と専門的学力	⇔	ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン（DEI）の理念について歴史的背景と現状を理解するとともに，今後のライフコースとキャリアを踏まえて，現代社会における問題点を分析・考察することができる。

(2)授業の概要	ＤＥＩとは，「Diversity（多様性）」「Equity（公平性）」「Inclusion（包括性）」の頭文字をとった略語であり，国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）の基盤をなす理念である。しかし日本におけるDEI推進の動きは，グローバル社会に対して大きく後れを取っているのが現状であり，例えば2025年のジェンダーギャップ指数は，148か国中118位と依然低い順位にとどまっている。一方，「人生100年時代」と言われる現代では，平均寿命が延びることで社会構造が大きく変化し，従来の「教育」→「仕事」→「引退」の単一的なライフコースの前提がもはや成り立たない(参考書[1])。これからの若い世代は，旧来の枠組みや意識に縛られず，一人ひとりが他の誰とも異なる人生を設計する必要がある。 本授業では，現状の問題点を多角的に分析・考察し，DEI実現に向けた社会の在り方とそれに対応した個人の働き方・生き方を考える。学部を横断した複数の教員と，実務経験のある外部講師によるオムニバス形式をとり，毎回異なるテーマについて講師がそれぞれの立場で講義する。
(3)授業のキーワード	ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン（DEI），ジェンダー，男女共同参画，キャリア，起業，実務経験
(4)授業計画	1: ガイダンス：ＤＥＩとは何か（中島・関／理学部・経法学部） 2: 平等とは何か，人権とは何か（加藤善子／高等教育研究センター） 3: 格差の構造（加藤善子／高等教育研究センター） 4: ＳＴＥＭにおけるジェンダーギャップ（中島美帆／理学部） 5: 人はどこから来て、どこに向かうのか ―葬送儀礼や宗教思想から考える日本人の死生観―（白馬秀孝／桔梗山郷福寺） 6: 映画やアニメ・漫画メディアにおけるLGBTQ+の人文主義的見方とは？（伊藤尽／人文学部） 7: キャリア継続とワークライフバランス（成田史子／経法学部） 8: ＳＯＧＩの多様性とＬＧＢＴＱ＋（星野慎二／NPO法人SHIP） 9: 「徳のある商人」を育てる人事のかたち ―理念をEVPとして可視化し、制度に落とし込む―（石井宏宗／サンシングループ） 10: セクシャル＆リプロダクティブヘルス＆ライツ（中込さと子／医学部） 11: キャリアビジョンを描いてみよう（田中聖華／横浜商科大） 12: フランスの働き方とスタートアップ：フランスと私の働き方 ―大使館勤務から起業へ―（林薫子／NARAFRANCE） 13: あなたの選択が世界を変える～「起業」という選択肢～（小栗ショウコ／NPO法人あっとほーむ） 14: （タイトル未定）（坂口けさみ／信州大学名誉教授） 15: まとめ：多様な問題にどう向き合うか／授業アンケート（中島・関／理学部・経法学部）
(5)成績評価の方法	講義毎の課題（小テスト又は小レポート）（各10点）の総和をとり100点満点に換算した総合得点を成績とする。レポートの書き方および注意点の詳細は「信州大学新入生ハンドブック」を参照のこと。
(6)成績評価の基準	小レポートでは，テーマについての背景と存在する課題を説明し，既存の学説や意見を踏まえた上で自分の考えを論理的に展開することとする。レポート内の[1]何を [2]なぜ [3]どのような方法で分析し，[4]その結果何が分かり、[5]そこから何が言えるのか（「信州大学新入生ハンドブック」参照），を構成要素としてチェックし内容を評価する。
(7)事前事後学習の内容	各回の講師によりテーマに沿った事前・事後学習が課される。各講義をバラバラに理解するのではなく，関連する書籍を読んだり新聞記事を収集するなど，講義で得た知識を有機的につなげるように努力すること。 レポート作成にあたっては，「新入生ハンドブック」に加え，「ピアサポ@Lib」ライティング支援部門の活用を推奨する。①レポート作成にあたり個別支援，ならびに②「レポートの書き方講座」（4回シリーズ）動画，を利用することができる。 ※この授業は90時間の学修を必要とする内容であり，60時間以上の時間外学習が必要である。
(8)履修上の注意	本授業は【EA】授業（オンライン授業）として開講され，Zoomを用いたリアルタイムオンライン授業，またはeALPS上のオンデマンド動画を基本とする。オンライン環境の整備（受講場所の確保，Zoom使用方法の習得等を含む）は各自の責任で行うこと。各回の事前・事後学習内容，Zoomアドレス，動画の視聴期限，レポート提出方法などは講師によって異なり，授業中またはeALPSにより指示されるので毎回確認すること。 スケジュールの詳細は初回ガイダンスにて説明する。
(9)質問,相談への対応	質問は科目責任者である中島美帆（理学部）が代表して受け付ける。メールまたはオフィスアワー（金曜日16:20-17:50，理学部A504）で対応する。
(10)授業への出席	全ての回に出席することを前提とする。授業の出欠は，Zoomのログイン記録（オンデマンド動画の場合は視聴記録）および毎回の課題の提出で確認する。

(11)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は,共通教育履修案内に掲載されている方法により補充を受けるための申請をおこなうこと。ただし，外部講師によるZoom講義の回については基本的に補充はできない。補充される場合であっても,欠席が複数回にわたると,授業の達成目標に到達に至る教育の質を担保することができないため,単位認定はできない。
【教科書】	指定しない
【参考書】	[1]リンダ・グラットン他，LIFE SHIFT，4492533877，東洋経済新報社，2016年，1980円